

「ほっかいどう学」地方創生塾（羅臼町）2年目 第3回

塾長：NPO 法人 ezorock 代表理事 草野 竹史 氏

日時：平成 31 年 3 月 9 日（土） 16:00～18:00

会場：no borders cafe

参加者：11 名

内容設定の背景

羅臼町活性化 WG が取り組むメイン行事「しれとこ羅臼こんぶフェスタ」の第 6 回目の議論がスタートする。H29～30 年の 2 カ年をかけて、組織の有り方・チームビルディングの特徴等を学び、それぞれのイベントやチームに対する思いややりがい・苦労面等を共有することができた。これらを地方創生塾の成果として捉えた時に、塾としては最終日を迎えることとなるが、羅臼町活性化 WG は正にこれから“変化”の一年としてスタートを切らなければならない。3 月 9 日をその一歩としての議論をスタートさせたい。



内容：第 6 回しれとこ羅臼こんぶフェスタの方向性について～イベントを見つめ直し、じぶんに・そして・まちに変化をつける一年～

- ・学校との連携について・・・フェスタの中に子どもたちの「知床学」発表する時間を設けては
- ・1 日ごとにテーマを持って運営していきたい
- ・町内だけでなく、外部からも飲食ブースの展開をしてもらおうと盛り上がるのでは
- ・町外からも人を呼べるイベントにすると成果がわかりやすい
- ・こんぶは料理に入っても目に見えないことが多いから伝わりにくい
- ・標津町の朝市を参考にしたい
 - しべつ未来塾をはじめとして、標津町と顔の見える繋がりを作っていくべき
 - それが何かあった時に助けになる
- ・漁師コレクションをやってみるのはどうか（メーカーさんにカッコいい漁師服を作ってもらおう）
- ・防災のイベントと連動して実施することで意義が明確になる

成果と課題

- ・羅臼町の若者が集まってフェスタを 5 年間も続けてきたこと
- ・羅臼町の夏といえば「こんぶフェスタ」と答えてくれる子供たちがいること
- ・こんぶの魅力や羅臼の魅力を伝えるメッセンジャーとしてメンバーが活躍できていること
- ・平成 31 年度の実施日を決めたので、他団体との連携をすでに打診していること
- ・外への情報発信（Facebook の運営等）が活発にできていない
 - 今回の様子もアップしたほうが良い